

2024年10月12日

ノーベル平和賞を受賞した日本被団協への祝意と私たちの会の決意

平和を求め軍拡を許さない女たちの会

代表 田中 優子

2024年10月、ノーベル平和賞の選考委員会が、日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）をノーベル平和賞に選びました。

日本被団協の皆様には、心からお祝いを申し上げます。

貴会が、広島や長崎で被爆した人たちの全国組織として、戦後一貫して被爆の実相を伝え、核兵器廃絶を世界に訴える活動を続けて来られたことに感謝するとともに、今年、貴会にノーベル平和賞が授与されたことの意義をととても大きなことと感じています。

ウクライナ・ロシア問題、ガザ・イスラエル問題など、有ってはならない武力攻撃により多くの人々が死傷し、なお継続しています。国土や自然環境の荒廃だけではなく生き残った方たちの心の荒廃はこの後長く続きます。

このような結果を生んではいけないと、被団協の方たちは訴え続けられてきたのです。被団協の活動を、いまこそ世界が知らなければいけないとノーベル平和賞は授与されたのだと思います。

私たちは、被団協に対する一過的な祝福ではなく、被団協の活動を改めて学ぶとともにこれを国内外の多くの方に伝えていく活動をするを、被団協の皆さんへのお祝いと感謝の行動としたいと思います。